

第3号様式（第15条、第17条、第18条関係）

事業者排出量削減計画書

| | | | | | | |
|--|---|--|----------------|----------------|----------------|-------------|
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更 | | | | |
| （宛先） 京都府知事 | | 平成 29年 8月 1日 | | | | |
| 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 兵庫県神戸市中央区小野柄通7-1-1 | | 氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社トリドールジャパン 代表取締役社長 恩田和樹 電話番号 078-200-3430 | | | | |
| 主たる業種 | 食堂、レストラン（専門料理店を除く） | | | | | |
| 事業者の区分 | 京都府地球温暖化対策条例施行規則 | 細分類番号 | 7 6 1 1 | | | |
| 事業者の区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号 | | | | | |
| 計画期間 | 平成29年4月から平成32年3月まで | | | | | |
| 基本方針 | 自然の恵みである「食」を扱う企業の責任として、環境問題に積極的に取り組み、社会の持続的発展に貢献します。（環境方針 前文） 売上原単位で毎年1%以上の継続的な削減を目指します。 | | | | | |
| 計画を推進するための体制 | 株式会社トリドールホールディングス（親会社）の環境委員会にて、グループ全社の環境マネジメントを統括しています。 | | | | | |
| 温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標 | 温室効果ガスの排出の量 | 基準年度 (28)年度 | 第1年度 (29)年度 | 第2年度 (30)年度 | 第3年度 (31)年度 | 増減率 |
| | 事業活動に伴う排出の量 | 3,251.4 トン | 3,196.6 トン | 3,164.9 トン | 3,133.2 トン | -2.7 パーセント |
| | 評価の対象となる排出の量 | 3,251.4 トン | 3,196.6 トン | 3,164.9 トン | 3,133.2 トン | -2.7 パーセント |
| 目標の根拠 | エネルギー使用の見える化等を通じて、各店舗での省エネ活動を支援し毎年前年比1%以上の継続的な削減を目指す | | | | | |
| 原単位当たりの温室効果ガス排出量等 | 事業の用に供する建築物の用途 | 基準年度 (28)年度 | 第1年度 (29)年度 | 第2年度 (30)年度 | 第3年度 (31)年度 | 増減率 |
| | 飲食店 | 1.28 | 1.25 | 1.24 | 1.23 | -3.13 パーセント |
| | 事業活動に伴う排出の量 (排出量/売上(百万円)) | | | | | パーセント |
| 原単位の指標及び目標の根拠 | 省エネマニュアルの策定および継続的な改善を通じて、店舗のエネルギー管理レベルの向上を図る | | | | | |
| 重点的に実施する取組の実施計画 | 基準年度 (28)年度 | 第1年度 (29)年度 | 第2年度 (30)年度 | 第3年度 (31)年度 | 備考 | |
| | 100.0 パーセント | 116.0 パーセント | 133.0 パーセント | 150.0 パーセント | | |
| 具体的な取組及び措置の内容 | (29)年度 | エネルギー使用状況の見える化推進（四半期毎にFB） | | | | |
| | (30)年度 | 省エネマニュアルの策定し、計画的な省エネを推進 | | | | |
| | (31)年度 | 省エネマニュアルの見直し、更新計画による省エネ推進 | | | | |
| 通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施しようとする措置 | 措置の内容 | 社員の自家用車通勤は原則禁止している | | | | |
| | 上記の措置を採用する理由 | 環境負荷を減らすと同時に事故リスクを回避するため | | | | |
| 森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減する量 | 区分 | 第1年度 (29)年度 | 第2年度 (30)年度 | 第3年度 (31)年度 | 備考 | |
| | 森林の保全及び整備によるもの | 0.0 トン | 0.0 トン | 0.0 トン | | |
| | 府内産の木材の利用によるもの | 0.0 トン | 0.0 トン | 0.0 トン | | |
| | 再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの | 0.0 トン | 0.0 トン | 0.0 トン | | |
| | グリーン電力証書等の購入によるもの | 0.0 トン | 0.0 トン | 0.0 トン | | |
| 温室効果ガス排出量の削減効果分又は温室効果ガスの吸収効果分の購入によるもの | 0.0 トン | 0.0 トン | 0.0 トン | | | |
| 合計 | 0.0 トン | 0.0 トン | 0.0 トン | | | |
| 地球温暖化対策に資する社会貢献活動 | | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

注1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

注2 「細分類番号」とは、統計法（平成19年法律第53号）第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。

注3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。

注4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。

注5 「重点的に実施する取組の実施計画」には、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施する取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。